



豊橋技術科学大学
ダイバーシティ推進センター

多様化する社会の要請に応えるため2020年度に男女共同参画推進本部からダイバーシティ推進本部に組織名を変更し、さらに2022年度からはダイバーシティ推進センターへと組織を拡充しました。ダイバーシティ推進センターはこれまでの男女共同参画推進に加え、多様性を尊重し、だれもがいきいきと輝ける大学になるよう、積極的に活動しています。

キャンパス内の施設整備事業として、図書館内に女性支援エリアを整備し、女性専用の休憩室や更衣室・パウダールームを設置し、女性が安心して活動できるエリアとなっています。また学内にみんなのトイレを整備し、誰もが使いやすくなりました。

2019年から3年間実施した女子学生特別支援制度では、リーダーとして次世代を担う女子学生メンバーと一緒に、冊子「テクノガールズ百科」や「多様性への理解」を作成しました。また、2021年にはSTEM分野におけるジェンダーギャップ解消に向け、「ジェンダーバランスってアンバランス？」の講演&意見交換会を行いました。2022年度からはダイバーシティと工学の視点をもった新しい知や価値の創出を先導し得る先駆的な技術者・研究者の人材育成のため、「ダイバーシティ活動支援学生」を募集し、採択された男女の学生が活動を開始しました。

「豊橋技術科学大学EQUAL」

- Equity** 多様性を認め、受け入れ、活かすキャンパス
- Quality** 人材育成による、しなやかで質の高いキャンパス
- Unity** 多様な人材が連帯感をもって機能するキャンパス
- Academics** 学識豊かな世界に開かれたキャンパス
- Learning** 誰もが学びやすく、働きやすいキャンパス

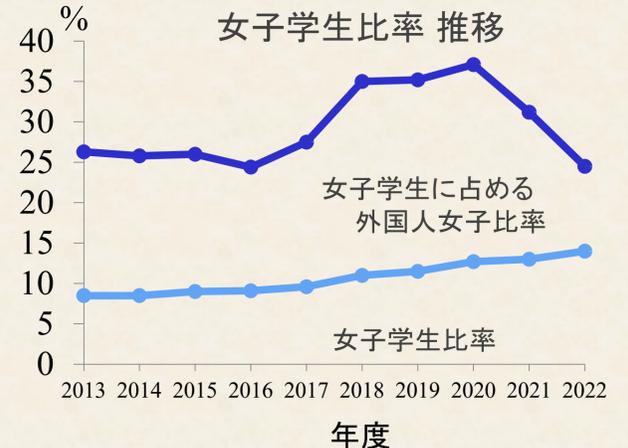
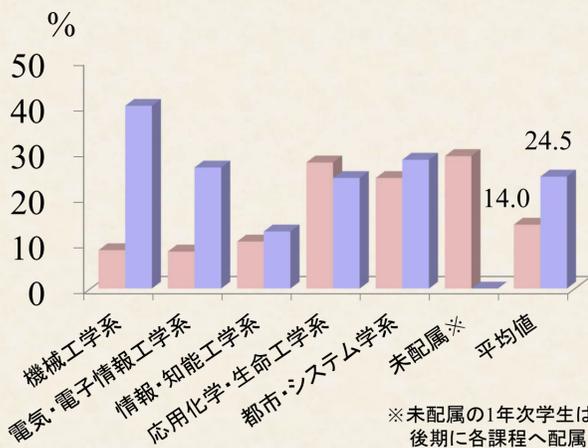
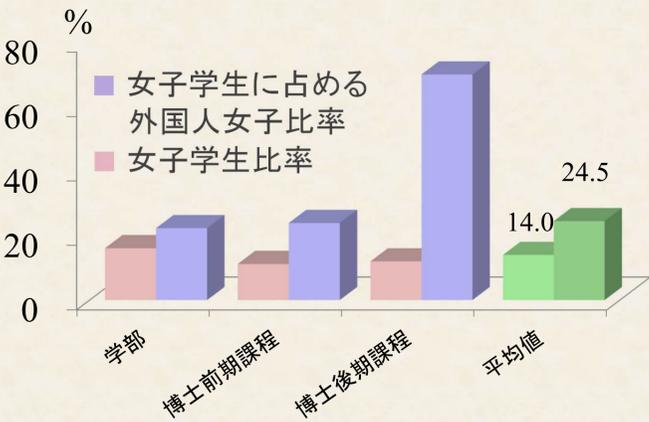
あいから日本へ、世界へ!



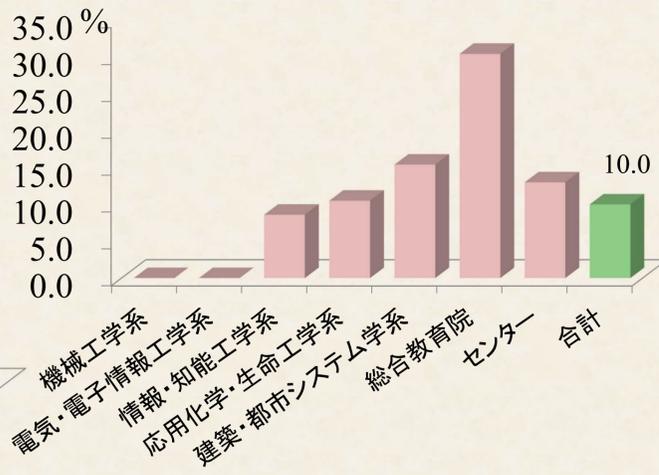
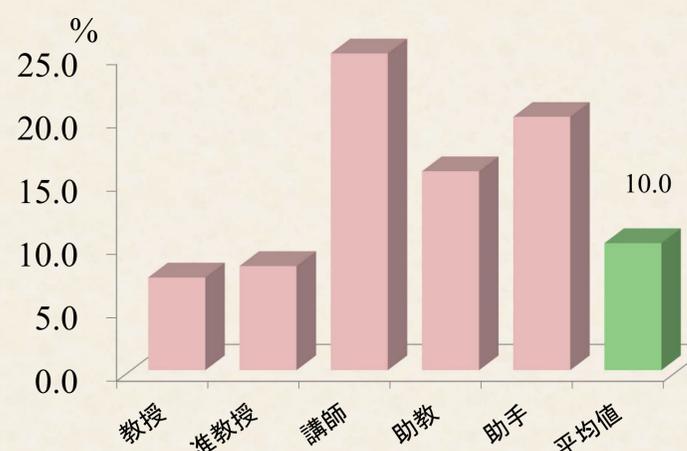
豊橋技術科学大学は、修学、教育・研究および大学運営等あらゆる場面において、互いを尊重し、多様な人材の個性と能力を、いきいきと発揮できる、キャンパスを実現するため、「豊橋技術科学大学EQUAL」を掲げて、ダイバーシティを推進します。

< データで見る女性の活躍 >

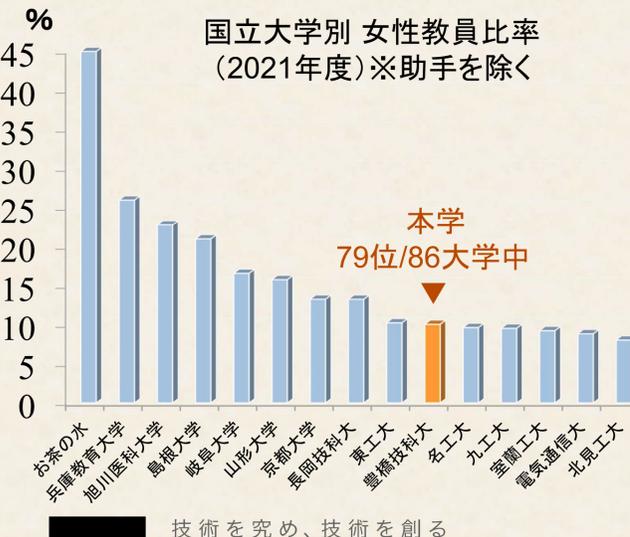
■ 本学 女子学生 比率 (2022年度)



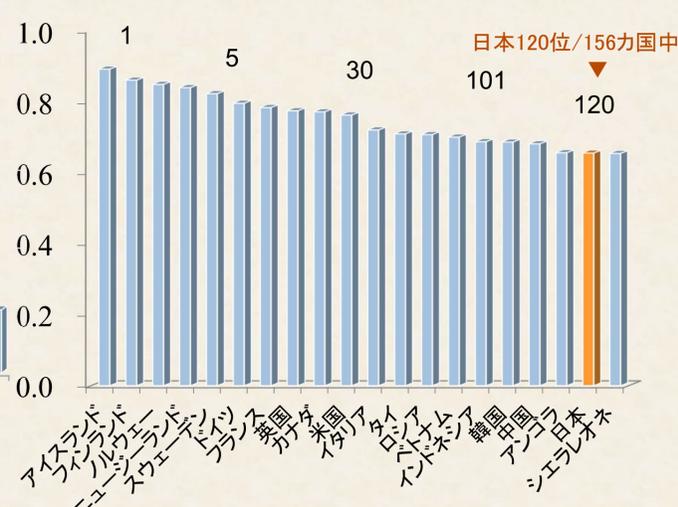
■ 本学 女性教員 比率 (2022年度)



■ 国内・国際比較



ジェンダー・ギャップ指数 (2021)



高等教育の女性教員比率 グローバルランキング (2019)

